

# JIS

## 土工機械－運転員の視野－ 測定方法及び性能基準

JIS A 8311 : 2018

(ISO 5006 : 2017)

(JCMA/JSA)

平成 30 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金丸 淳子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
榎 徹雄	東京都市大学	
三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会	
棟近 雅彦	早稲田大学	
村垣 善浩	東京女子医科大学	
山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所	
和 途 健二	一般社団法人日本自動車工業会	

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 7.11.1 改正：平成 30.9.20

官 報 公 示：平成 30.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本建設機械施工協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 基本寸法	5
4.1 光源間隔寸法	5
4.2 遮影寸法	5
4.3 測定のための基準寸法	5
5 測定用機器	5
6 測定機械の構成	6
7 間接視界の性能基準	6
7.1 視覚補助装置	6
7.2 表示装置の位置	6
7.3 鏡の性能基準	6
7.4 監視カメラの性能基準	7
8 測定手順	7
8.1 測定地表面の線引き及び測定地表面への機械の配置	7
8.2 測定用機器の配置	8
8.3 遮影の測定	8
9 算定方法	11
9.1 視界測定円 (VTC) 又は機側長方形境界 (RB) での遮影計算手順	11
9.2 計算機による試験模擬	12
10 評価方法及び性能基準	12
10.1 視界測定円 (VTC) 上での視界性能基準	12
10.2 機側長方形境界 (RB) での視界性能基準	17
10.3 直接視界による視界性能基準を超える遮影	18
10.4 (表 1 及び表 2 の範囲外の) 大形土工機械, 派生土工機械及びほかの形式の土工機械に対する要求事項	19
11 試験報告書	20
11.1 機械仕様	20
11.2 図面	20
12 運転取扱説明書での視界の説明	20
附属書 A (規定) 作業装置高さ (HH) 及び作業装置半径 (RR) の寸法及び位置並びに機側長方形境界 (RB)	22
解 説	27

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本建設機械施工協会（JCMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 8311:2010** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 土工機械—運転員の視野—測定方法及び性能基準

## Earth-moving machinery—Operator's field of view— Test method and performance criteria

### 序文

この規格は、2017年に第2版として発行されたISO 5006を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

### 1 適用範囲

この規格は、機械周囲の長方形境界上及び半径12 mの視界測定円（VTC）上での運転員の視界を測定及び評価する静的測定方法について規定する。

この規格は、着座運転席をもち、施工現場での作業及び公道走行を意図した、JIS A 8308で規定する土工機械に適用する。この規格は、表1に記載した機種ごとに、JIS A 8320に従って最大運転質量までの機械の視界性能基準を規定する。大形機械、派生土工機械及びほかの形式の土工機械を含め、表1に記載されていない機械に対しては、10.4に規定するリスクアセスメント手順と併せて視界測定方法を適用できる。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 5006:2017, Earth-moving machinery—Operator's field of view—Test method and performance criteria (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS A 8308** 土工機械—基本機種—用語

**注記** 対応国際規格：ISO 6165, Earth-moving machinery—Basic types—Identification and terms and definitions

**JIS A 8315** 土工機械—運転員の身体寸法及び運転員周囲の最小空間

**注記** 対応国際規格：ISO 3411, Earth-moving machinery—Physical dimensions of operators and minimum operator space envelope

**JIS A 8318** 土工機械—座席基準点（SIP）

**注記** 対応国際規格：ISO 5353, Earth-moving machinery, and tractors and machinery for agriculture and forestry—Seat index point

**JIS A 8320** 土工機械—機械全体、作業装置及び構成部品の質量測定方法